

第79回 全日本学生ヨット選手権大会

大会期日 : 平成26年10月30日(木)～平成26年11月3日(月・祝)
 開催地 : 福岡市ヨットハーバー (〒819-0001 福岡市西区小戸3丁目58-1)
 共同主催 : 全日本学生ヨット連盟、九州学生ヨット連盟、福岡県セーリング連盟
 公認 : 公益財団法人日本セーリング連盟 (承認番号H26-24)
 後援 : 福岡市、九州ヨット協会 日本470協会、日本スナイプ協会
 (予定) 長崎県セーリング連盟
 特別協賛 : 日建・レンタコムグループ
 協力 : 博多港・ササキコーポレーション共同事業体(福岡市ヨットハーバー指定管理者)

レース公示

1. 規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則』に定義された規則が適用される。
- 1.2 『全日本学生ヨット連盟規約』、『470学連申し合わせ事項』、『スナイプ級学連申し合わせ事項』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3 付則Dは適用しない。
- 1.4 SCIRA規則『国内及び国際選手権大会の運営規定』は適用しない。
- 1.5 規則41に以下を追加する。
『(e) 自チームの他艇からの援助』
- 1.6 規則60.1(b)に以下を追加する。
『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または傷害に基づいて救済要求を行うことはできない。』
- 1.7 次の規則を追加する。
『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第2章の規則違反に対してのペナルティーはないものとする。』

2. 競技種目

国際470級、国際スナイプ級

3. 参加資格および申込み

3.1 参加資格

- (1) 本大会には、各水域における予選を行い、各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学チームが参加できる
- (2) 各水域の推薦枠は次の通りとする。

北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州	開催地 (九州)	計
1	1	7	2	3	3	2	1	3	1	24

- (3) 参加チームの競技者は、次の項目を満たしていなければならない。
 - (a) 2014年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 - (b) 全日本学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。

全日本学生ヨット連盟規約：
 第6条 連盟主催、主管および公認ヨット競技の出場資格は、以下の通りとする。
 (1) 加盟大学に学籍のある者。ただし、通信教育部生は除く。
 (2) 出場可能年数は入学時より4年間とする。
 - (c) 国際470級の競技者は、日本470協会の2014年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
 - (d) 国際スナイプ級の競技者は、2014年度SCIRA会員であること。

(4) 参加チームの監督およびコーチは、2014年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。

3.2 参加申込み

(1) 参加申込書-1、参加申込書-2（競技者名簿）、参加申込書-3（支援艇許可申請書）に必要事項を記入の上、次の書類を添付し、平成26年10月6日（月）必着で以下に郵送すること。

(a) 添付すべき書類：

- ・参加申込書に記載した競技者全員の『2014年度（公財）日本セーリング連盟メンバーカード』の写し
- ・国際スナイプ級の競技者は、『SCIRAへのメンバー登録完了証明書』の写し

(b) 郵送先： 第79回全日本学生ヨット選手権大会実行委員会：舩屋 知実

〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎3丁目8-10-702

E-Mail：kyushugakuren2014@gmail.com

(2) 参加申込書-2（競技者名簿）は、3.2（1）とは別に、エクセル形式で作成したものを上記宛先に平成26年10月5日（日）必着でメールに添付し送付すること。

(3) 水域予選が平成26年10月1日以降に開催される水域については、上記の期限を以下の通り変更する。

- ・メール送付の期限：平成26年10月15日（水）
- ・郵送の期限：平成26年10月17日（金）

(4) 期日を過ぎてからの参加申込み（書類の不足または不備を含む）および競技者の追加変更登録は認めない。

4. 参加料

4.1 参加料等は次の通りとする。

- (1) 参加料：1校/1クラス 60,000円
- (2) エントリー番号代：1校/1クラス（3艇分） 6,000円
- (3) 施設使用料：レース艇および陸上保管可能な支援艇ともに 1艇/1日 990円

4.2 振込期日：平成26年10月20日（月）

4.3 振込先：西日本シティ銀行 箱崎支店 普通預金

口座番号：3037776

名義：第79回全日本学生ヨット選手権大会実行委員会 会計 舩屋知実（マスマトモミ）

5. 艇

5.1 各クラスとも1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。

5.2 艇は、原則として参加チームの所有艇とするが、参加チームが手配したチャーター艇も認める。

5.3 国際スナイプ級の艇は、2014年度SCIRA登録を完了していること。

5.4 予備艇の使用は、艇の破損による場合のみとし、事前にレース委員会の許可を得なければならない。

5.5 艇体には『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に定められた表示をしなければならない。

6. セール

6.1 各チームが用意した1チーム3セットとする。なお、各チームとも1セットの予備セールを認める。

6.2 国際470級のセールは、基本計測を完了していなければならない。

6.3 国際スナイプ級のセールは、2014年の年度計測を完了していなければならない。

6.4 同一のセール番号、同一のエントリー番号を同時に使用してはならない。

各クラス協会に登録されたセール番号以外の番号を使用してはならない。

6.5 国際470級のメイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。

6.6 予備セールの使用は、セールの紛失または補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、事前にレース委員会の承認を得なければならない。

6.7 レース艇のセールには、レース委員会が準備したエントリー番号を、【添付図A】に示す位置に、メイン・セールの上部にスターボード側を上にして、重ならないように付けなければならない。

6.8 エントリー番号は、受付時に配布する。

7. 日程

7.1 受付（登録） 平成26年10月29日（水） 13:00～17:00

平成26年10月30日（木） 08:00～15:00

- 7.2 大会計測 平成26年10月30日(木) 08:30～15:00
 7.3 主将会議 平成26年10月30日(木) 15:00～15:30
 7.4 開会式 平成26年10月30日(木) 16:00～16:30
 7.6 予定されるレース日程とレース数は次の通りとする。

日付	国際470級	国際スナイブ級
10月 31日(金)	3	3
11月 1日(土)	3	3
11月 2日(日)	3	3
11月 3日(月・祝)	2	2
合計レース数	11	11

- 7.7 10月31日(金)・11月1日(土)・11月2日(日)は、最大4レースを行うことがある。
 7.8 それぞれの日の最初の国際470級の予告信号の予定時刻は10:30とし、国際スナイブ級はこれに続く。
 7.9 11月3日(月・祝)は13:00より後に予告信号を発せられない。
 7.10 表彰式と閉会式は、平成26年11月3日(月・祝)16:00より行う。

8. 計測

- 8.1 参加チームは、使用する艇の艇体に関する有効な計測証明書を受付時に提示しなければならない。
 8.2 各チームは、艇体およびセールに関する各水域のオフィシャル・メジャーによる大会事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を提出するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けなければならない。「大会計測完了証明書」発行後は、改造を行ってはならない。計測後に改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。
 8.3 国際スナイブ級は、平成26年10月30日(木)時点で艇の購入後2年間を経過していない艇は、「スナイブ級学連申し合わせ事項」に基づき、各水域学連が作成したチェックリストを提示しなければならない。

9. 受付

参加チームは、大会本部で次の書類を提示し、受付を完了しなければならない。

- (a) 参加競技者の(公財)日本セーリング連盟会員証(原本)。
 (b) 監督・コーチの(公財)日本セーリング連盟会員証の原本またはコピー。
 (c) 国際470級は、計測登録証明書およびINTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM。ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え計測登録証明書(原本)も提示しなければならない。
 (d) 国際スナイブ級の競技者は、SCIRAへのメンバー登録完了証明書(原本)。
 (e) 国際スナイブ級は、計測証明書。
 (f) 「スナイブ級学連申し合わせ事項」に基づき、各水域学連が作成したチェックリスト。

10. 帆走指示書

- 10.1 帆走指示書は、平成26年9月30日(火)までに各水域学連委員長宛に送付する。
 10.2 帆走指示書に対する質問は、平成26年10月20日(月)必着で大会事務局に送付すること。
 ◎大会事務局連絡先：第79回全日本学生ヨット選手権大会実行委員会：(参加申込み先と同じ)
 10.3 質問に対する回答は、公式掲示板に掲示する。

11. 開催地

- 11.1 【添付図B】は、大会ハーバーの場所を示す。
 11.2 【添付図C】は、レース海面の場所を示す。

12. コース

【添付図D】の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

13. 得点

- 13.1 大会の成立には、3レースを完了することが必要である。
 13.2 クラス別のチーム順位は、実施された全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計とし、より得点の低

いチームを上位とする。

- 13.3 総合得点は、両クラスに参加した大学の両クラス全ての得点の合計とし、より得点の低い大学を上位とする。
 13.4 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、規則A8の「艇」を「チーム」に置き換えて適用する。
 13.5 総合の得点がタイとなった場合には、その大学は同位とする。

14. 安全規定

- 14.1 Y旗が陸上で掲揚された場合、水上にいる間は、常に規則40が適用される。これは規則第4章前文を変更している。
 14.2 国際470級は直径8mm以上で長さ10m以上の水に浮くタイプの曳船用ロープを搭載していなければならない。
 14.3 国際スナイプ級は、直径8mm以上で長さ15m以上の曳船用ロープを搭載していなければならない。また、十分な推進力を得ることのできるパドルを搭載していなければならない。

15. 支援艇

- 15.1 支援艇を持ち込む場合は、受付時に、「参加申込書-3」として郵送した「支援艇許可申請書」のコピーを提出してレース委員会に登録し、「支援艇許可証」を受け取らなければならない。
 15.2 支援艇は、水上にいる間、大会本部で貸与する識別旗を目立つように掲揚しなければならない。
 15.3 支援艇は、支援艇登録時に配布する「支援艇許可証」に記載されている事項を守らなければならない。
 15.4 支援艇は、緊急の場合を除き、無線送信も、全ての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。
 15.5 本項に違反した場合、またはレース委員会の指示に従わなかった支援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇に関わるチームの全レース艇に対してプロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。

16. 賞

賞は次のように与える。

クラス	優勝旗	賞状	賞品
国際470級	1位	1位～6位	1位～3位
国際スナイプ級	1位	1位～6位	1位～3位
総合	1位	1位～6位	1位～3位

17. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則4「レースすることの決定」参照。主催団体は、レガッタ前、レガッタ中またはレガッタ後に生じた物的損傷または人身傷害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。

18. 大会期間中の競技者の肖像権

本大会期間中の艇、競技者に関連する写真・ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。

19. 問い合わせ先

本大会に関する問い合わせ先は、以下の通りとする。

◎ 九州学生ヨット連盟 委員長：北詰 有人

TEL : 090-1854-6825

Mail : kyushugakuren2014@gmail.com

【添付図 C】 レース海面



【添付図 D】 コース見取り図
S-1-2-3-1-4-F

